

MUSICIAN'S

ROCK & ROLL
 MUSICIANS
 WHO
 PLAY
 FENDER
 GUITARS



Randy Hansen

「ギターに換えたのは、ヘンドリックスのコピーを始めたときからなんだ。普通のFenderのピックアップが好きだよ。わかるテリアーがない音が出るし、音色がまよまよしないんだ。」



Jeff Beck

僕はフェンダーのストラトキャスターを使用しているけど、昔ギターに憧れた頃によくアルバム・ジャケットにのってたギターと形がそっくりだからというのがある。気に入ってる理由のひとつなんだ。何だか、その頃の思い出がいつも自然に胸に刺さってくるような。とってもなつかしい感じになってしまってる。確か1955年のものだと思ってる最高のギターだ。



Rory Gallagher

どうやら僕らは根っからのフェンダー・ミュージシャンらしいよ。ストラトにはメタリックな透明感があるし、デカくてファズっぽいコーピング・サウンドが出来るしね。それに音の伸びもフェンダーの方がいいように思えるし……。フェンダーだと後の壁にまでぶつかるような感じなんだ。



Ritchie Blackmore

21か22のときにヘンドリックスのサウンドを聴いてしまったんだ。実際のあの強烈な音が僕の底に響いてきたものだから。どうしてもあのギターが欲しくなっちゃってね。フェンダー・ギターが好きなのは、自分なりの音を出すことができるからなんだ。



Steve Lukather

ストラトでは様々なアレイができる。何よりもあのアームが利点だね。それにステージで動きやすいしね。操作性もいいし。



Joe Perry

ヤクスボウのストラトにヤクスボウのテレキャスター・ネックをつけて使ってるよ。ヤクスボウだと、ピックアップの角度が違ってくるし、ナットからペグまでの弦の長さも変わってくるしね。



Eddie Van Halen

僕がヴィンテージ・ストラトのテレキャスターが好きなのは、ブラスのやつよりトーンが豊かだからなんだ。ブラスは俺には向いてないみたいなんだ。どうしても思い通りのトーンが出せなくてね。



Dave Mason

シャドワーズのハンク・マーヴィン。彼が使ってるのと同じギターが欲しかったんだ。大分前の話になっちゃうけど、それがフェンダー・アレイじゃなくなった理由なんだよ。

ROMANCE



Eric Clapton

「テレキャスターって、グラニー・ロビンソンが参加したころから入れたんだけど、音がすごくいいので気に入った。別に何にも手を加えてはいないけど、ただ第1PUと第2PUの間で、クォーター・トーンを出せるようにしている。そのせいでリズム・ブルース的なサウンドや、ロック的なサウンドが出せるようになったよ。」



John Paul Jones

ルイス・ハイムにいたころから、ジャズベースが欲しくたまらなかつたんだ。で、確か200ドルだったと思うんだけど、新品を買ったんだ。コントロールをチューンして1975年のゾアまで使ってた。ずっと使ってたんでちょっとガタがきたから今は家に置いてるよ。あと1952年のオリジナル・フレンジョベースも持っているよ。スチュージオでトラック・ドッグなんかをやるときに使ってたよ。



Roy Buchanan

テレキャスターは、スケールよく似てるし、そうじゃなかったにしてもテレキャスターでなくてもいいんだ。確かにこのギターは他のギターよりも弾きやすいかな。によりもそのサウンドが気に入ったからね。



Paul Kosoff

「バック・ストリート・ブローワー」ではメイプルネックのストラトを使ってる。ジャケットのやつね。すごくいい弾き心地。すごく反応が良かった。「TIME AWAY」のドラックで使ったんだ。フリーの最終公演でもストラトを使ったよ。



Andy Summers

ストラトを音のリヴァーブ・アップに施した音は素晴らしいし、僕のテレキャスター・カスタムをマーシャルに通した音もまた一種独特でね……あれほどいい音はないよ。



Jaco Pastorius

フェンダーが一番だね。1962年のをフレットレスにして、1960年ののをそのまま使ってる。その他にも練習用ののを3本持っているけどみんなジャズベースだ。



Larry Carlton

水品のように透明な、ディストーションしていないリズム・サウンドが必要だと思うところで、自分のヴォーカルの真にストラトを弾いてる自分が見えるんだよ。

